

昭和三十六年六月二十六日招集（第百一）
第二面市議會是例合々議錄

館山市第三回市議定会定例会々議録(第一号)

昭和三十六年六月招集

六月二十六日(月曜日)

一 議事日程(第一号)

第一 報告第四号 昭和三十五年度四月例月検査報告

五号 昭和三十五年五月例月検査報告

六号 昭和三十六年度五月例月検査報告

七号 昭和三十五年六月例月検査報告

八号 昭和三十六年度六月例月検査報告

第二 諮問第一号 公有水面の埋まについて

第三 議案第四九号 第一中学校々舎増築工事請負契約の締結について

第四 議案第五〇号 昭和三十六年五月に支給する期末手当の特例に關する条例

の制定について

議案第五一号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五号

館山市職員等へ旅費に供する条例の一部を改正する条

例の制定について

第五 議案第五三号

館山市市員定数条例の一部を改正する条例の制定について

第五四号

館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

第六 議案第五五号

館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

第七 議案第五六号

館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

第八 議案第五七号

館山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

第九 議案第五九号

館山市部課設置条例の一部を改正する条例の制定について

第一〇 議案第六〇号

昭和三十六年度館山市特別会計公益債償還金入支出追加更正予算

議案第六一号

昭和三十六年度館山市特別会計国民健康保険金入支出追加更正予算

正予算

議案第六二号

昭和三十六年度館山市特別会計と畜場金入支出追加更正予算

第二 議案第六三号

昭和三十六年度特別会計休養施設金入支出追加更正予算

第三 議案第六四号

昭和三十六年度館山市金入支出追加更正予算

第九の次に追加

議案第五八号

一部事務組合の設立について

議案第六五号

館山市衛生処理場設置条例の制定について

第一三 臨時せ納之人議員の互選について

一現在議員三四名でその氏名次の通り

一	委員 山本 昇	二	委員 脇田 順一
三	委員 三沢 節	四	委員 志村 信作
五	委員 岩崎 静致	六	委員 嶋田 敏
九	委員 吉田 勇治郎	一〇	委員 佐野 信二
一一	委員 川名 房吉	一二	委員 黒川 佐太郎
一三	委員 長谷川 光江	一四	委員 江田 徳太郎
一五	委員 小林 寅三助	一六	委員 石井 孝
一七	委員 安沢 徳順	一八	委員 安西 政治
一九	委員 志木 嗣郎	二〇	委員 萩生田 七郎
二一	委員 後藤 ゆき	二二	委員 田中 禄郎
二三	委員 吉田 辰雄	二四	委員 飯田 義男
二五	委員 鈴木 市藏	二六	委員 鈴木 彦太郎

二七 参 田中 忠藏 二八 参 加藤 良太郎

二九 参 遠山 日ネ子 三〇 参 北山 茂雄

三一 参 田村 喜兵卫 三二 参 鈴木 孝

三三 参 山口 幸三 三四 参 松本 藤太郎

三五 参 山口 康 三六 参 堀内 世作

一 法第百三十一条による出席説明員

市 長 田村 利男

助 役 小出 武男

収入 役 定戸 貢

総務課 長 山口 実

秘書課 長 山谷 潤和

税務第三課 長 多田 俊一

商工水産課 長 羽山 房雄

福祉事務所 長 長谷川 玄治

厚生課長 伊藤幸太郎

稅務第一課長代理 富宮兼次

保健課長 神作啓次郎

農務統計課長 吉田耕一

市民課長 高木招三

建設課長 新井重助

選管書記長 大島重義

消防署長 安藤龜吉

教育長 工藤和平

庶務課長 鵜沢貫覺

監查委員 川上 栄

一本議會の事務局長書記及び職員

事務局長 高田梨清一

書記 太田博雄

書記 兵藤恭一

職員 山口晴之

二十前十時十分開会

一欠席議員なし

議長(山本 昇 君) 本日への出席議員数三三名、川より第一回

市議会定例会下開会いなりまし

本定例会議案説明への田村市長、小出助次、定戸收入役

山口課長、山谷課長、多田課長、羽山課長、新井課長、高

木課長、吉田課長、神作課長、長谷川所長、八島書記長、富岡

主事、工藤教育長、親次課長、川上監査委員以上の出席

下をめし、いへる御報告いなりまし

会議録署名員、指名いなりまし、本定例会へ署名員は

五番議員、岩崎靜敏君、三番議員、山口幸三君以上

西君下指名いさります。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(山本昇君)御異議なしと認めます。

よって決定されました。

議案下配付いたします。

(議案配付)

議長(山本昇君)議案の配付もいたしました。よろしいですか。

なしと認めます。

会期の決定を行います。本定例会の会期はつぎのよう

議金運営協議会の意見は本日より六月二十八日まで三

日間ということとあります。

おはかりいたします。会期は三日と定めますことに御異議

ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇君)御座議なりと認めます

よて会期は三日と決定されます

本日議事は下午三時に配付の日程表により上程いたします
冒頭に市長の提案理由の説明を求めます

(市長田村利男君登壇)

市長(田村利男君)本日、定例議会を開催に當りまして本議会
に提案いたします入休のことにつきまして御説明申し上
げます

まず四月以降六月までの例月検査報告、議案といは
す第一中学校の増築工事の請負契約の締結に
ついて、第一といは三月から三月まで三六ヶ月に支給さ
るべき期不手当の特別条例の制定について、第二に
員給与条例の一部を改正する条例の制定でございます
次に館山市職員等の旅費に關する条例の一部を改正する

条例でございすすがこれは主として内容は市内出張の類
と幾分エグるといふ程度のものでございすす

次に定数条例でございすすがこれはごくわずかな改正で
ございすす 次に公民館条例の一部を改正するといふ

ことでございすすがこれは那百の修式館の問題について
の内容でございすす 次に市税条例の一部改正は市民

税の条例改正と軽自動車への改正でございすす 次に館山

市国民健康保険条例の一部を改正するわけにございす
すがこれは国民健康保険加入につきまして新しくこちら
参りましたことにつきましての条例改正でございすす

次に印鑑条例に關する改正でございすすがこれも印鑑
等の非常に低下の一面につきましてさうな不足の点
がありすすのでこれの改正でございすす 次に提案

いたすす 館山市役所条例におきまして今まで十三の

課長が承りました。新しくのめて市議会の要請もあり

市におきまして今後各方面に発達いたします

る市内の情勢 日本的な情勢にみまうて館山市に

企画課と申しますか新しくそういうものを取り扱います

企画室として万全の期をいとうことで企画室設

置ということをお願いするわけになります。その他

特別会計案件になります。市発展のためになります

重要な件でございます。慎重に御審議をお願いいた

します。

議長（山本 昇一君）日程第一報告第四号乃至第八号は一括工程にま

ります。

（書 記 朗 読）

報告第四号 昭和三十五年四月例月検査報告

五号

五月

報告第六号 昭和三十六年度五月例月検査報告

七号 昭和三十五年度六月

八号 昭和三十六年六月

議長(山本 昇君) 監査委員の説明を求めます。

(監査委員 川上 栄君 登壇)

監査委員(川上 栄君) 報告第四号 本年四月一四に実施いたしまして、昭和三十五年度四月例月の例月検査の結果を御報告申し上げます。

詳細につきましてはお手元の報告書白通りであります。が、主なものとして申し上げますと、三月中に市税の収入額は千五百八十九万六千五百七十八円でありまして、三月までの田県計額は一億四千五百十三万六千三百円とござります。これに納期に列来分につきまして、調定額に比して、収入割合は八六・八％、前年同期に比較して、一九％

上昇してあるわけでございます。

支出面でございますがその主なものは下申さざりますと

館山大橋及び道路新設工事費は二百三十万円、其中の

校舎増築費第三回支払分は百六十五万九千円、公営

住宅新設工事費は百三十万円でありました。

特別会計につきましては省略させていただきます。

報告第五号第六号本年五月十三日に実施いたしました。

昭和三十五年五月及び三十六年交の五月の例月検査の結果

下御報告申上げます。

報告第五号は昭和三十五年交の四月分でありまして収入の

主なものは下申さざりますと市税収入額四百九十五万

八千二百四十円で四月までの累計額は一億五千八百八十五

万二千七百七十七円と調定額に比しまして収入割合は八八・二

％前年同期と比較いたしますと二・八％上昇してある次第で

にございます。税外収入の主なものと申し上げますと
庁舎の建設市債千五百万円 支出面での主なものは
館山大橋及び道路工事第一回支払分二百五十九万八千円
公営住宅工事費第二回支払分百六十万円 図書館買
収費第五回分支払百五十万円であります。

報告第六号は昭和三十六年度四月分でありまして収入の主な
ものとして申し上げますと市税収入が八百十一万一千円 細期
の到来による調定済額に對しては収入歩合は三八・一パーセン
トに前年と比較いたしまして六パーセント低下してあり
ます。税外収入の最も多いものは地方交付税二千三百四
十万五千円であります。

支出面でございますがその主なものは市税の完納奨励金
二百五十万円であります。

報告第七号は昭和三十五年五月分でありましてその収入

「あもな」もの下申しを申し上げますと、市税収入は四百九十三万七千九百九十九円とありまして、五月までの収入累計額は一億五千四百九十九万三千九百六十四円でありまして、調定額に比し、まして収入割合は九三・一％とありまして、前年同様に比較いたしますと、三・一％上昇してある次第でございます。

支分でございますが、その「あもな」ものは土地改良費、農林、市却、暗渠排水工事費、六十六万、波石岡の災害復旧工事費、八十三万二千円でありまして、

欠損分でございますが、四十一万六千六百六十六円計としております。その内訳を申し上げますと、市税は、四百八万八千四百六十四円、固定資産税は、三十三万五千五百円、その他三万二千八百九十九円とござります。未納額でございますが、これは、六千二百八十九万二千三百二十九円計としてあります。これは、

昭和三十六年度 新年度へ繰越すものでありまして、その
内訳を申しあげます。市民税が二百四万七千八百十九円
固定資産税が九百七十七万五千六百六十四円、その他九十七
万六千七十七円でありました。

報告第八号は三十六年度五月分でありまして、その収入の下
も、その下申しをいたしますと、市税収入が二千二百九十
五万四千九百三十三円でありまして、その内訳を申しえ
げますと、固定資産税が千四百七十六万二千円、電気
ガス税が二百八万円、軽自動車税が二百六万九千円
と、ば、消費税が百七十七万六千円でありました。
納期は、列来して調定額に比して、収入が合は九、四
分でありまして、前年同期に比較して、まして五、四％
上昇してある次第でございます。

支出面の主なものは、中学校の机の購入費三十一万月

公債元利還金ハ六丁六万六千円 利子の五丁九万六千円
であります。

以上もろろと報告第四号乃至第八号の説明に終り
ます。

議長 山本 早 君 以上を監査委員の報告は終ります。
これはつきつて御質疑ごさいませんか。

六番(鴻田 繁 君) ちよとお聞きますが五月末現在に
調査した、大数字で市税におきつて未納額がある
ので下は、これは納期到来のものゝと納期のこないもの
というのを区分してお知らせ願いたいと思ひます。

監査委員(川上 栄 君) 今年度の三六年度のこゝどと思ひま
すが納期へ到来しない分をこゝにいますかのちよと御
報告申しエります。

議長(山本 昇 君) 六番議員に申しエります。が主管課

長。すへら説明いたさせようか

。大妻嶋田 繁君に願います。

。総務課長山本 昇君に三六年度一般会計これは全額納期
パスです。千三百八十万円千三百二十九万円というの
は
本当の滞納額でございます。

。二八番(安西政治君)質問いたしますが特別会計休養施設の
三六年度三月末現在の状況でございますが手元に配
られた惣山荘の決算書と対比して例えは現金
の金高というものが差がある。こういうものについて
の御説明をお願いいたします。

。商工水産課長(羽山彦雄君)監査報告の現在高六十三万三千
三千三百円とございますがお手元に配付した印刷物では
現金六十七万四千九百六十三円。この差があるがこれは
について説明しろ。こういうことでございます。

市金庫に入つたものと農協預金との差額がこれだけ生じております。こゝで御承知願います。

○二 安西政治 君 貸借表にある預金は農協預金で了解で
まゐりますがいづゆる市金庫の現金高と貸借対照表
の現金の金高との差はもろろ人廻しに残る、とい
ふ現金であつたといふことは想像がつくのですが、その辺
はどうですか

商工水産課長(羽山房雄君)「これは松本さんの定了したものがあるが市金
庫理在高くなつてしまつて想山荘で手元にいれ
ゆる農協預金も手元に若干のつり銭あるいは理金操
作上のものがあつたとその差額が約理金の数字の上
で四万五千円ある、さういふことでござります。

二八番(安西政治君)その現金の残額というものの感　その数字に
比べても想像はつくのでございませうが大体三月三一日

は締切りだと思つてゐます。もちろん営業上も
あるのゝ相違、予備金というものも必要であらうというこ
とは想像が出来ますがやはり零協預金に一部してゐる
たゞ一日のところでもう少くも要領よくこの数字下合せて
おいてくれれば更員やその他にとかくの疑惑というものが
わかないか、のではないかとこいうことが感じられるのです
今度この辺に過ぎるべきものはどういふお考えでござい
ますか

。高工水産課長（羽山房雄君）実は私も三月三十一日現在で報告
してございますが出納閉鎖の五月三十一日まで整理期間下
もあつてその間で整理するものが結論に及びます
これは一応三月三十一日であつた数字を一応御報告申し
上げましてなおその後の売掛金、回収未払金、整理
一応出納閉鎖まで終つております。これは複式簿記

の関係で市の整理簿と合せる関係で三月三十一日現在で整理期間も待たないで計算して首さんへ参考のためにお見でする。　　こういうことでございます。

二 委（安西政治君）よくわかるのごですが、かく計画されるのだからでまたう疑惑のないように電話一つでミハ下農協に入れておいてくれということであるのではないかと思う。　　そういふこととお考之願えれば幸いであるということお申しエグなからわけでございます。

商工水産課長（羽山彦雄君）御指摘のよう十分同意いのないように特に注意して、こう考えております。

三 委（萩生田十郎君）休養施設の問題で、と御説明願いたいのですが未収金というのがあるのですかどういう性格のものか。二百五十万月もあるが、

それかう内容でつけられもし例えは私どもの常識で

もし、てすると在庫品が少く、六十四万という土地の借方
決算があります。この土地は、貸付されたもので
すが、これは別に借りたのです。その辺は、と説明
願います。

それから資本金、計上額があります。この三百二十
万というの是一般会計の繰入れである、金類は
つかどうか。それについて説明願います。

商工水産課長（羽山彦雄）第一向とあと、ついで、手
減価償却。関係がござりますが、これは定率法を用
います。計算は、ついで、

なお資本金の問題でございますが、一般会計の繰入れ
は、二百六十万と土地、評価額四十万二千三百三十円、あ
る土地は山林になつております。すぐ付連の宅地
の等級と組合せ、ついで、こういう評価額で、ついで、

合せて三百七十五千三百三十円

それから第一回の領向の趣旨は、よりぬかうないのです

。三番(萩生四ヶ郎君)借方決算で未収金というのが二百五十二

万一千円計としてあるのですがこれはどういう意味か

御説明願います

市長(田村利男君)簡単に申しあげますと果から支給金に

百五十万通知があつてまだ入らないから未収金というこ

とござつております

議長(山本昇君)以上で監査報告御了承願いたします

暫時休憩いたします

千前一一時一五分休憩

千前一一時三十分再開

議長（山本 昇）君休憩前に引続き今議事を開きます。

目程第一＝諮問第一号下工程について

（書 記 朗 読）

諮問第一号 公有水面の埋込について

建設課長（新井重助君）諮問第一号について技術の点と
について御説明申し上げます。

船形湊港は昭和五三年より仕事下始めまして防波堤
あるいは岸壁の修築と荷揚げ場の修築 形和五三年
より岸壁の修築と荷揚げ場の修築 形和五三年
下集中一々のごじやいます。それに伴って港内の

浚渫はありましてその土砂下岸壁の裏側に盛り上げら
れるのは荷揚げ場のところにも、また、その当時公有水
面の埋込申請がなされはなうが、たのでありまして、
果のその都合もございまして、工事が入り済

みまーと今日、これ下やることになつたので、このため追
 認^文という字がでてきたのであります。この追認により
 まーで船形港の港内面積を除きまーで陸上施設に使
 用^いまーます面積は一六四三八坪となるのでございます。
 その内訳を申しますと船のき場として利用^いまーます
 のが三三八坪、荷揚場、これは特定になつてあります。
 これが三三四坪、岸壁土に沿つて三二四坪、あまり、それか
 ら一般利用地、これは漁港関係施設としてでなく一般に利用
 する土地でございす。これが六九三三坪、その他一四三坪
 あります。合計一六四三八坪でございす。
 裏の四角がございす。赤でぬりまーで範囲が埋ま^区域
 になつてあります。なほ二五年から三六年度までに要
 する工費が一億六千七百万円でございす。
 以上でございす。

〇三三委(山口幸三君)諮問第一号につまきして八名中の賛成者下得て發議者として答申案ヲ提出せしむるに
ごようく御賛成のほど下お願ひ申しとげます

議長(山本 昇 君)さういふ三三委員より發議がありまして
答申案下案案通り決定いたしまする御異議ありませんか

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(山本 昇 君)御異議なしと認めます
よつて答申案はこのまゝ決定されます

議長(山本 昇 君)統つて日程第三議案第四号下上程に
いたします

(書記朗読)

議案第四号 第一中学校々舎増築工事請負契約の締結

ハ
ツ
ハ
マ

庶務課長(親次貫賞君)議案第四九号について御説明申しをり
ます

本工事は当初予算におさまるゝて議決済みのものであり
ます。補助起債の見通しもつたままので今回工事請
負の締結下さいというものでござります。

六月二日に現場説明をいりて同月一七日五業者下
指名いりて、その業者名は関万次郎 高橋俊男
計岩尾 渡辺政男 雄 島野光治の五名でありたり

その結果最低の関次郎と契約したいというものでござい
ます。工事の概要は図面にございまして通り四反室＝階建木
造セメントがわらぶき一七一、二坪でございまして、

議長山本 昇君 議案第四九号 討論有畧 原案通り 決定

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(山本 昇君)御異議ございと認めます

よ、て本案は原案通り決定されるものと

議長(山本 昇君)続いて日程第四議案第五〇号乃至五二号
下一括上程いたします

(書 記 朗 読)

議案第五〇号 昭和三十六年度六月に支給する期末手当の特例に
関する条例の制定について

議案第五一号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定
について

議案第五二号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する
条例の制定について

秘書課長(山谷 潤一郎君)議案第五〇号について御説明申し上げます

本案は職員並びに特別職の夏季手当の特例でございます。従来特別職と議員一般職員夏季手当の支給条例は三本ございまして、特例でございまして一本にして支給しようとするものでございます。

なお支給率の改正は先般千葉県県下の市長会主催の市の担当者会議が実施されまして、各市から相当意見の交換がありまして、それで参考にして、館山市の職員組合から要望のありまして、支給率としまして市の財政等も勘案いたしまして、今回は百分の七五とあるものを、百分の一〇。そのほか一般職員は勤務手当が百分の二五ありまして、ので合計百分の一三五の手当で支給しようとするものであります。なお特別職につきましては、これも従来は館山市はほとんど県下の他の一七市と比較して最下位であつたものでございますが、今回は各市の状況等も考

慮いまいまして職員同様の特例下設定し、まして支給するにござります。この案が通りましての場合には従来は館山市は一八市の最下位から下から三番目にあつたがやゝと一八市の一二、三番位になるにござります。そこで職員も今より一層市民のサービス等に全力を注ぐと思われ、するにございとお願ひいたします。

次に五一号議案は給与条例の一部改正にござります。一三条第一項第一号中「六十月」を「百月」に改める。これは防疫手当、伝染病発生の際に従事した手当にござります。

次に「百月」を「二百月」に改める。これは行政死病人取扱手当にござります。次に「五十月」を「百月」に改める。これは危険作業手当にござります。次に「三百月」を「五百月」に改める。これは徴収手当の内勤者とごさいます。外勤者との均衡をとるために

「五百月」に改めようとするものであります。それから

新に祭壇装置手当 お葬式用の祭壇でござい

ます。これは従来手当はなかっただございます。が

これはとりつけかつはずすところまで一件として「六

十月」下支給する。こうしようとするものであります。

次に議案第五号の館山市職員等の旅費に關する

条例の一部改正でございます。が「四時間」を「三時間」に改

めるといふのは市内出張の手当でございます。従来は

四時間出張した場合に初めて四十月の旅費を下さす

こうなつていたのですが、この四時間という時間は土曜

日は一時半から二時まで勤務しても三時間半です。か

うこれはもう乏しかつたのでございます。こういう不合

理がございまして、今回「四時間」を「三時間」に改めよ

うとするものでございまして、以て議案について説明を終

ります。

三四番（松本・藤太郎君）市の職員に臨時の職員が大部たくさんある。こういう人々に対しての期末手当はどういうふうになつてゐますか。

秘書課長（山谷潤次郎君）臨時職員には共済組合に加入してゐる者と加入してゐない者と二種類ある。でございまして、共済組合に加入してゐる者は長期にわたつてどうしても市が必要であるという職員は、で現業員が多数であります。共済組合に入つてゐる職員に対しては、今回は賃金の臨時増給下——すいて三三日前下支給——といふと思つてあります。これは必ずしも一月二五日と——すいて一三割二分に——す。それから共済組合に入つてゐない臨時職員には二五日分——す。月分でございまして。

三四番（松本・藤太郎君）よくわかりました。率としては大体

平均してあるようです。共済組合に加入してある現場の臨時職員というのはい、まずと厚生課へ慶賀の処理をしてある方があります。これはやはり共済組合加入の臨時職員です。

秘書課長(山谷潤一郎君) 大体共済組合に最近採用になりまして、四五名の方がまだ加入してありません。

三四番(松本藤太郎君) そうしますと、年間これだけの人が必要だと行政執行上必要だということになる人は全部共済に入らなければなりません。秘書課長(山谷潤一郎君) 大体その方針でございます。

「事務職員は一季以上になる、とい、まして共済組合に入っていないの、一、二、三名あります。これはその仕事が終わる次第いつてもやめちゃうというのが建前であります。

事務職員の臨時につまみ、これはほとんど共済組合に入らなければなりません。

議長山本 早 君 議案第五〇号乃至五二号 討論省界原案通り決定ハルマすハ御稟議ニ依リマセンカ

(「稟議ナシ」と呼ぶ者あり)

議長山本 早 君 御稟議ナシと認めマす

「マ」マ議案ハ原案通り決定スルマす
暫時休憩ハルマす

午前一一時五〇分休憩

午後 三時一〇分 再会

議長山本 早 君 休憩前ハ引続テ會議ヲ開キマす

日程第五 議案五三号及び五四号 下一形工程ハルマす

(書 記 朗 読)

議案第五三号 館山市職員定数条例の一部ヲ改正スル条例ノ制定

について

議案第五四号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

庶務課長(穂沢貫賞君) 議案第五三号について御説明申しをいたします

従来教育委員会事務局の職員 学校へ使丁 図書館の職員
等 一本である。このようにして今回これに合けようとして
さらに高等学校 幼稚園の定数も明示しなれけでござい
ます。

第一の教育委員会事務局の職員 吏員一五名その他の職員二
人で計二十八人 学校の職員のうち高等学校 職員 三は
予算に計入してあります。職員下そのように、に定数と
て上げられけでございます。教育職員 校長以下二十八人で
ございます。

事務担当職員三人は事務職員でございす。
その他の職員二名は事務補充員使丁 合計三三名 小中学

枚取員はニ枚の便丁ニ一人下マ、ト計スーニわけでござい
ます。

幼稚園の職員教育職員ニ名ニのうり六人、園長でござ
います。北条幼稚園館山幼稚園の便丁でございます。
合計三四人でございます。

学校以外、職員で青年学級、職員、吏員担当職員四名は
豊彦の青年学級バニ人、神余バー人、西岬バー人、合計四人。
図書館の職員は吏員一人と便丁のニ名、プールの職員、看
守人一人以上、ように改正ーバというものでございます。
議案第^四四号、公民館条例の改正でございます。三月一
日、寄付收受、議決下願、了、ト那古の修式館、これト
館山市公民館、那古形分館と、ミの分館の中に加えよう
というものでございます。

議長(山本昇) 議案第五三号及び五四号、提案通り決定

いづますに御異議ございますやんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 山本 昇 君 御異議ございとお認めます。

よゝゝ兩案は案来通り可決されよう。

議長 山本 昇 君 続いて日程第六議案第五五号下工程につきます。

(書記朗読)

議案第五五号 館山市市税条例の一部下改正する条例の制定について
税務第一課長代理(島宮兼次君)五五号議案について御説明申しをります。

地方税法の一部改正に伴ひまして自治省の通達により以て
の改正が行はれた。

二四条の下より「六十五歳以上」「老年者」に改正する
はす。それから前年の所得「十三万円」下「十五万円」

トこれは未収年者 老年者でございます

六一条の八項 固定資産税、課税標準でございます

これは償却資産税の中、特例中でございます

船の課税標準が従来は三分の二でありまして、それが今回、改正で

二分の一に改正されます

なお八一条の軽自動車、納税義務者でございます

乗三公社 日本鉄道 専売公社 電々公社等、軽自動車は非

課税でございます、それが今回、改正により、普通車に改正される

ようになります、でございます

八一条の軽自動車の税率でございます

のその他として年額一車ト千五百円でございます

今度、改正によりまして二輪のもの、千五百円、三輪のもの、

二千円、四輪乗用車が三千円、貨物用が二千五百円に改

正されます、以てでございます

議長(山本昇君)議案第五五号討論省署提案通り決定いた
します。御異議ございますやんか。

(「異議ござい」と呼ぶ者あり)

議長(山本昇君)御異議ございと認めます。
よって本案は提案通り決定をいたします。

議長(山本昇君)続いて日程第七議案第五六号と日程
いたします。

(書目記朗読)

議案第五六号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例
の制定について

保険課長(神作啓次郎君)五六号国民健康保険法一部改正について
申しあげます。

現行条例第四条は国民健康保険、被保険者となる者

として貧困のため市民税を免除されている者及びその者に
属する者と規定してあります。これが今回国民健康保険条例の
改正でございまして、この改正は、該当者も国民健康保険の趣旨
から被保険者とするよう取扱ひが改正されて、き市も
この規定を削除することによって、保険医療の適用除外
者でなくそうとするものであります。

三〇 委員 松本 藤太郎君 今、被保険者として削除になる人
ですが、これに該当する人は国民健康保険で掛金はしな
いけれども国民健康保険として医者にかけられるのですか。
それともそうでなく生活保護法によってかゝるのですか。
保険課長 榊原 啓次郎君 これは生活保護法で受ける者は優
先でございまして、あとは一人も漏れないうちに他の保険が何
かに入るといふことになっております。

議長 山本 昇君 議案第五六号討論省案案審決通り決定い

「――もうすぐ御異議ございますせんか、」

(「異議ござい」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇一 君)御異議ございと認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

議長(山本 昇一 君)従って日程第一議案第五号下工程いた
ります。

(書 記 朗 読)

議案第五号 館山市印鑑条例の一部下改正する条例の附

定について

。市民課長(高 不 哲三 君)議案第五号について御説明申しを申し上げます。
第一=条は今までには、市長はゴム印または三文判のようにな
照令困難と認める印鑑の届出の受理を拒むこととがで
る」というありましたが、それと今度細かく明記したわけで

ございます。今までですと人の印でも受理しなくてはいいけ
ないことになつてあります。ところが今度は戸籍簿とか住民票に
ございます氏名あるいは氏名の組合せとかそういう印鑑で
受ければ受けられないということになります。それで受けでござい
ます。それから一三条の二でございます。今までは受けるるときは
照合困難と認め、場合一三条の二の「由」である印鑑が、
損磨滅のため照合困難と認められるに至つたときは以
印させることができるとなつてあります。けれども今度
一三条でそれは一三条の四「その他市長が不適当と認め
られるもの」これに該当することになります。で今度
一三条では証明の拒否でございます。今まで届けてあ
る印が、損磨滅のため照合困難と認められるに至つた
ときは証明を拒否することができるというところになつてお
ります。

一三条の二の2でございすすがこれは転入届は原則とい
うーまーは移動修証明下もってまて住民登録へ編
入届になりますすが返助に、て転入届はでるべくとも住
民登録はできることになり、てありますので本人の確認ので
まない場合は一月を過ぎないときは印鑑証明下し
ないということとで、ちうかうあるうの転出先に通知下
し、まーそれと照合した場合に、ちうかう返事が参り
ますので、その間一ヶ月みると間に合いますので、に、に、
月ということになりておまうーた

それから第一三条でございすすが、今までも閲覧させて
はありまや人がやはり、これの禁示ということは銘記して
おく必要があると思ひ、すーたので、に、に、エウておまうーた
第三号様式というところとがございすすが、今までは印鑑証明
書の裏に市長の印がふいてあり、すーたが、これは認

の月日下調べるゝに裏下みはければならないという不便でありまゝのゝでそれ下表に書いてやゝのゝでございます。

付則のニでございます。がこれは今すで届出てある印での規定に抵触するような印も中にはあります。丁度今の間今すで通り扱、ていくことに付則で規定してあります。

ニ四番（飯田義男君）この条例はなにか国またはなにかの規定に準じて市で作ったものであるか。市が独自にこの条例を作ったものであるか。ということが一つ。

それから三号様式の大まき及び書式でございます。がこれは村、市等まち／＼な点があるのです。がこれは下何とが統一されてあるものはないのですか。

市民課長高木哲三君 この条例は市で独自で作る条例でございます。で市で独自で運営に不便です。とすゝで改正してゆ

けでございます。

それから証明書、様式でございます。これは各市町村によつて条例で定めますのでいろいろ大きなものもあればございます。それでも市といつては今まで各市からいろいろ見本を取つてみても、ところどころが、こういうふうな一面に上下利用してあるのが大部分だ、この方が便利だと思つて、ついでこれに改めよう、と。

三四季（飯田義男君）　さういふりますとある市では印鑑届が可能であるといふこと、館山市にくと困ることがありはしないか。

市民課長（高木哲三君）　各市町村でこの条例が制定されておる関係でさういふこととおもひますともあると思ひます。

三四季（飯田義男君）　というと非常にあつたの、問題になりす。自分の氏名等全然入らない印鑑といふものがある。

ばいばあるのです。が、そういうふうなものはない。なり
ますと、全国で統一され、ばい、の、で、ようが、館山市
だけが、そういう状態だ、ということがある、と不便な、と
が、起、こ、し、は、い、ない、か、という、こと、です、が、その、点、も、う、一、回、
。市民課長（高木哲三君）全国的に、各市町村によ、て、違、い、ま
す、と、い、こ、でも、その、問題、を、困、つ、て、あ、り、ま、す、こ、今、回、こ、に、
提、せ、い、ま、す、こ、に、よう、に、氏、名、と、あ、ら、か、が、入、つ、こ、い、な、け
れば、なら、ない、と、いう、こと、で、こ、う、改、正、し、て、あ、る、と、こ、ろ、が、
多、く、な、つ、て、ま、こ、あ、り、ま、す、

議長（山本昇君）おは、い、い、ま、す、

議案第五十七号 討論省営乗車通り決定、い、ま、す、こ、に、御
異、議、あ、り、ま、せん、か、

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（山本昇君）御異議、な、し、と、認、め、ま、す、

よ、マ本案は本案通り決定いたすこと

議長（山本 昇 君）読みて日程第九議案第五九号下工程いた

す

（書 記 朗 読）

議案第五九号 館山市卸課設置条例の一部を改正する条例の

制定について

助役（小出 武男 君）議案第五九号について御説明いたします

お手えに事務内容について、^印刷物と配付してあります

ので御覧願います。従来市におきましてはこの案

一から第五号まで企画調査係の主管事務として書日と

上げました。この事務はすでに秘書課及び総務課に

おいて取り扱われてある事項でございます。

大体市に仕事として申しますと、やはり各部局におきか

て国果というつなばりにあつて行政が行われてゐるわけである。そしてこれとよく他課との関連さうに市全体としての関連という面におきましては現在、機構そのものが縦割り式にできてゐるという傾向が多分にあるわけである。

時代が非常に進みまして、いろいろ社会情勢が変つて参りますと新なる角度から市全体的にこれと研究しなればならぬ事項がでてゐる。可能性が強いわけでありまして、今後とも起るであろう可能性が強いわけでありまして、こういう考えからいまして従来の事務下二つの課に分属してゐるものと事務下一つの室に課と申して、格別いへますが、いふれ内容が充実して、丁度課に昇格の時期があると思つて、すが一応室ということとで、これと一元化して、そして、時代が推移して、対応して、こういう考えで

もちろ〜てこの企画調査室下置の際設置すべきと思う
わけであります 構想といふ〜まはお手えに参る〜

エげております事務下行うわけでございます、これの
取扱う職員は現在、庁内から優秀な職員を集めて
数名の室に〜い、こういうふうに考えております、

現在各市でも非常にこう〜考へ方もらえて下
で、三三の市では企画室を設けて〜今申しあげて
下ようなこと下や、ているのでございます

今回市ではそういうこと下とり入小〜て、面を強化して
いふ、い、かように考へる次第で本案を提出したわけだ
ございます

市長(田村利男君)なおこの設置につきましてはおねて市会
皆さんから市は突発的なこと下考へてい、か減に処理
するのではないかという御批判がかなり強か、そのまじ

ございますが、そういうこともろろ人ありませんのですが、
先般五ヶ年計画の計画書も作りまして新しい将来へ企画と
いうものも企画室で設けて、その専門に検討^免強ささるという
ものも設けまして、館山市発展のため今後大いに活用し
たい、こういう意図の下に、今回企画室設置下思っているため
けでござります。よろしくお願いいたします。

。四委(志村信作君) 差しきり室はどの室か。

。助役(小出武男君) 大会議室の隣りに予備室を予定してあります。
す

。四委(志村信作君) そうすると一委長は企画室長というので、
か 調査係長という名称になるのですか。

。助役(小出武男君) 調査室長でござります。

。三四委(松本、藤太郎君) 昨年から一々かみの新しい建設計画、
の 調整要綱に基いて市の建設計画の調査本部というの

のびでまた、またこの間五ヶ年計画も提示されたのです。それとこれとどういう関連があるのか、これを一つお尋ねしたい。またこれを伴って市の新市建設審議会、名前下、忘れろ、でも何かさういふような会ができてある。こういうことも、この関連について、

市長田村利男君直接五ヶ年計画とは無関係だといふ。協議会というものと将来いろんな形が結びついていく。これはどういふすが、たゞいまのところ、まず字下設置して、職員下配置して、いろいろな方面の研究をして、字下作り上げたいといふ。い、

将来はもっと事務量も各課に分散してあるものも、さらに吸合して、本格的に計画調査というものを、一本立てて計画課というものに成長していき、これをさらに考えていきます。

。三四番（松本藤太郎君）そうーますと現在実施してエーます
五ヶ年計画とは別とい、ますと それ下も含めて五ヶ年
から先へにと下調査企画していく こういうことです
。市長（田村利男君）そうです。

。三四番（松本藤太郎君）そうーますと今のお話ですと増員
員一なくて各課から優秀な課員補充するということですが
各課も非常に手不足ということと下聞いてあるのです
優秀な人といわなければいけないからどうか知り
ますせんが抜かれば課が困るのではまいかとということと下考え
るが その点に対する御配慮はどうですか。

。市長（田村利男君）十分考えて今計画しているわけですので
す

。三四番（田村利男君）この課の仕事でござい、ますと課の性
格とい、ますと、さういうものでこれは市長の命令下お

べえてやるのですが能動的にこの企画課が自分で独
自に考²下²して市長にこうこうかうかうということ下進
言することまでやるか それとも各課かうの要請に
よって他動的に動くものであるかその点

市長(田村利男君)もちろん市長や助役が考²えつかないこと
自分で考²えどして企画して市長に進言い²う²する²
そういうことは最も望²ま²しいことである²また行²う²過²ぎ²は
市長がこれ下切るといふこともまた可能であると思²い
ます また市長が皆さんへ御要望によ²つ²て²こうい²う²も
の下やらなければならぬというふうな決定線下²べ²
する²とき²に企画室に命じてこれを調査せよとい²う²
ことはあり得る ーいて言²え²ば両面作戦でござ²い²ます²
議長(山本 昇君)おけりい²う²す²す²

議案第五九号討論省界提案通り決定い²う²す²す²に

御異議ございませんか

(「異議ござい」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇一君)「異議ござい」と認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

暫時休憩いたします。

午後三時五五分休憩

午後四時一〇分再会

議長(山本 昇一君)休憩前に引き続き会議を開始します。

さういすの出席議員数三二名。本日へ会議に追加議案

として議案第五八号、議案第六五号の両案が送付された。

一六

おはりのいす。まず、西案と本日へ日程に追加する直ち

に議題といつてます。御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇 君)御異議なしと認めます。

よって日程は追加されました。

議案下配付いたします。

(議案配付)

議長(山本 昇 君)議案の配付漏れはございませんか。

なしと認めます。

議案第五八号下工程について。

(書記朗読)

議案第五八号 一部事務組合の設立について。

厚生課長(伊藤 幸太郎 君)議案第五八号について御説明申し上げます。

ます。

当館山市は隣りの三芳村と隔離病舎に因ります共同。

処理の目的で一部事務組合を作りたいということになります
います下

この一部事務組合の方法でございすすが地方自治法第二章八
四条の第一項の規定によりましてまず両市村におきまして
て協議下さいましてまず規約案を決定いたします
その規約案を両市村の議会にかけまして議決されまして
両議決書の下添えて知事の許可の申請をいたします
許可のありますときはかう一部事務組合が設けられたとい
うことになります
この第一要点といえます
規約案の議決をお願いするわけでございます
規約案の内容につきまして概略を申し述べたいと思ひます
第一章は御覽の通りごく普通の総則的なものでございす
す。ご一応省略いたします第二章は組合の議会でございます
す。この組合はこの規約によりまして組合議会を設置すること

トなつております。この議会の議員は九人下定数といつたし
て、館山市が六人、三芳村が三人、割合で両市村の議会に
おきましてそれらの定員の割合議員下選挙していただ
くという結果になるわけでございます。

次に第三章の組合の執行機関でございますが、まずこの組
合に管理者と助役並ぐに収入役下おくこととなります。
管理者は選任にござります。これは館山市長と管理者とする
ものから助役収入役につきましては、管理者が組合議会の
同意を得まして選任するといふ規定でございます。

なお助役収入役は任期につきましては一応二年とすると
いうことでございます。なお執行機関の一つといつて、ま
して第一条にござります。監査委員と設ける。この
監査委員は選任にござります。これは一応館山市の監査委員
下も、て充てるといふことでござります。

願います。

ニ委(脇田)順一君にお尋ねいたします。

三芳村と館山市の分担の率百分之八十と二十分の二ですが協議の結果です。たそうであります。何か根拠がありますか。

それから同時に議員が館山市は六人三芳村が三人という

これも協議の結果です。たそうです。根拠がありますか。

厚生課長(伊藤)幸次郎君この委員の分担割合でござりますか。

両市村におきまして協議いたします。一つの資料という

ことで館山市と三芳村の国勢調査の人口の一定といた

う大いけでござります。さういまして平均割合

いわゆる均等割合の百分之五十と各百分之五十です

とそれからあとの百分之十人口割といまして計算いた

しますと約一人当り四十五円余であります。その計算

によりますと館山市が二百八十万それから三芳さん

オが六十＝万というような大体の数字がでたわけでございます。その場合に今申しエグましの数字も総額のパーセントでみますと、館山市が八＝％弱、三芳村が一八＝％強というような数字になるわけでございます。これ半端な数字ではいろいろ計算の問題もあろうか。一応どうだろう。一〇分の八、一〇分の二という割合でどうだという事で関係者によりまして協議していただければいいと思います。それから次の組合議会の議員の数でございます。まずバミは、これも書いてございます。すなわち何名なければいけないという事とじゃございしませんけれども、いろいろ組合の運営上、そうあまり大勢の議員さんでもという事で一六、三の割合でもよろしい。九名という事で協議いただければいいと思います。以上でございます。

二番(里)川佐太郎君(事務員)の教はうで、ておりました人(事務員)はどの位おますか

厚生課長(伊藤幸太郎君)これは管理者が任命するに
なっておりますが一応考えたいです。これは館山市、関
係、職員と三ヶ村の事務職員各一名あて二名程度
下程度(伊藤幸太郎君)は、いんじやないか、こういうふう
に考えております

三番(里)川佐太郎君(組合)の委員です。これは連合者で
た場合はまたおの下の違ひで丁ね

厚生課長(伊藤幸太郎君)連合者に対してです。委員のものは両
市村館山市、た場合は館山市三ヶ村、た場合は三ヶ
村は伝染病予防法によりまして計算されます

議長(山本昇君)おはかりいたします

議案第五八号 討論 省令 原案通り決定いたします

御稟議ありませんか。

(「稟議」——と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇 君)御稟議と認めます。

よ、ま本案は稟案通り決定いたしまして。

議長(山本 昇 君)続いて議案第六五号下上程いたします。

(書 記 朗 読)

議案第六五号 館山市衛生処理場設置条例の制定について

厚生課長(伊藤幸人 君)六五号議案につきまして御説明申

しエゲます。

この条例は館山市のし尿処理場に対しまして名称と位置
下条例化そうとするものであります。

これにつきまして御承知のようである四月に対策審議
会が設けられまして約三ヶ月にわたりましていろいろ

あらゆる角度から御検討御調査の結果一応市長に於て
 する答申がござります。それに基づき市長とい
 うて答申につきまして検討いたしまして結果
 やはり執行部の意見も同様でございますので、に書い
 てござります。大賀地先と同番地々処理場下設ける。そ
 ういうことでございます。なお名称でございますが、こ
 れは普通一応処理場と呼ばれているわけでございますが
 いろいろ考へましてやはり衛生処理場というふうな名
 前でも、ま、い、う、どうかということでもよろしく願
 います。

二番（安西政治君）の処理場設置問題につきましてい
 ろろ審議会等と御努力してゐることもよくわかりまし
 ます。さういふものが館山市にと、非常に急を要する
 ということもわかるのでござります。すが今までの人々を過

下でございまして、さう考へて地元の方々がどんな
意向をも、ていなか市長さんなどは、にだすまでに折衝
されていくことは想像されますので、地元の意向がどう
であつたかという点で、下にお尋ねいたします。またそれ
に對して、もう一つ、さういふことが、さういふものですか、う
ろい、ろの空気はあつたと思ひますが、大勢としてどんな
空気であつたかという点で、下にお尋ねいたします。
次ページに、今までに説明も受ける程度、了解は受
けてゐるのをごさいます。が、今後さういふもの、ために物心
両面、何れの被害のござつたものがあつたときに、補償等の
問題につきます。市当局にあつては、さういふことを考へて
おりますか。この二点で、下にお尋ね申して、了ります。

市長(田村利男君) 設置場所、設置地元の全部の人の御意見を
聞くわけにも参ります。せんが、あつた、あつたの有力者の方々を

御意見下聞きまして必ずしも全面的に賛成である
 という誘致運動らしい言葉は得られずせんでしるけ
 れともやゝ納得する線があるということと下市長にお
 いて認めましてこの条例下でわけございます下
 第三点といまして補償という言葉もお便ひによ
 うございますがあるいはそれによつても、と利益に与る
 場合があるかも知れぬのでございます。またふとく
 損害下与えろということもあるかも知れませんが、い
 れば、いまして、いまでもそういう事態がおこりまして、と
 は市において積極的な思実な責任下も、て処理したいと
 思うわけでございます。

九条(吉田勇治郎君)と、いふ安西議員から質問がありま
 すが大体重複するものであります。が念のためお伺い
 いたします。

基本的にはこれは当然一日も早く作らなければならぬ
こう考えるものであります。いろいろ過程はあります。た
が本日ここに突如として錦山市衛生処理場設置条例の
制定ということの運びに相なつたことについて本日また
ま関係団体の陳情があつて、漁業権についての云々と
いうことが初めて耳にされたわけであります。漁業権
と申しますれば岡でなつて水はゆるうに宅地であり畑で
あり田である。こうした法的にもみなされておるものでありま
す。この人々らが疑義をしてもつというのことに對して一先
のこれに對する疑義を下はうするやうな場合が設けられ
なかつたというのことに對しては少しいます。ではないか
こう考えるものであります。これについて今後どういうやう
な考え下もつておられるか。それからこの危惧されて
いることが補償問題であります。すがその前に申してより

二 負 山 市 議 会
たゝことは当然完全処置ということが目的であるので
害をばいことはわれは前提として認めますが今ま
での説明でも認めますが奥族あるいは磯根資深等へ
対して云々という陳情があるものであります。これもし
実害がある場合の考へ方についての御答弁下合せてお
願ひするものとす。

市長(田村利男君)水産業者に対する問題のようでございますが
今後は先ほど安西議員に申しエピソードのような業者と十分
に話し合ひまして納得下願うあつゆる努力下はかりたい
と思ふわけでございます。

さうします実害等が起つた場合にござりまする先ほど
の答弁同様十分市として本音に実害があるから市々
費用にたいして補償しなければならぬと思ひます。
そういうこと下含めて今後十分考慮して処理していき

たい、このように考えております。

議長（山本 昇一君）おはかりいたします。

議案第六五号討論有界提案通り決定いたします。
御異議ございませんか。

（異議なしと呼ぶ者あり）

議長（山本 昇一君）御異議なしと認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

議長（山本 昇一君）続いて議案第六〇号乃至六二号を一括上程
いたします。

（書 記 朗 読）

議案第六〇号 昭和三十六年度館山市特別会計公益賃屋歳入歳出追
加更正予算

議案第六一号 昭和三十六年度館山市特別会計国民健康保険歳入歳

出追加更正予算

議案第六号

昭和三十六年度特別会計と畜場歳入歳出追加更正予算

秘書課長山谷潤昶君議案第六号 六号 六号 三議案について

御説明いたします

この三議案の予算の追加は干前中議決になりまして、職員
の期不手当の増額分でございます。三議案とも予備費
が充ち足りております。財源といたしましては、

議長 山本 昇 君 おはかりいたします。

議案第六号乃至六号原案通り決定いたします。御
異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 山本 昇 君 御異議ございませぬと認めます。

よって三議案は原案通り決定いたします。

議長山本 昇 君 読いて日程第一議案第六三号下工程いへ
ます

(書 記 朗 読)

議案第六三号 昭和三十六年度館山市特別会計休養施設歳入歳
出追加更正予算

秘書課長山谷 潤 君 六三議案について御説明申し上げます
歳入の経営費の中へ職員給十七万六千四百円追加計上
いたしまして、これは従来国民宿舎の調理人が臨時で
あつたのを本採用にして、めい計上いたしまして、
この歳入といつて、これは一部は調理士の賃金それ
を更正いたしまして、歳入に充てまして、
次の諸手当へ、職員手当は調理人に対する諸手当を計上
いたしまして、なお期末手当は先ほど増額になりま
す、これを合算して計上いたしまして、

商工水産課長(羽山 房雄)君 読いて御説明いたします。

先ほど説明のありまして、貸金十万円下更正いたします。

これは調理人の給料へ廻り替へたものでございます。

なお二四節の工事請負費で十五万円お願いたします。

そのは食堂のペラニダに日除 天幕工事下施行いたします。

く計上いたします。なお二五節の備品

費でございますが、これは現在あります。たんせんあるいは

ゆへに、寝具品服の関係でございますが、現在もや、不

足下みております。上へ増築されますと、なお相違

考へられますので、追加下お願いたします。

さいます。次へは器具等々、備品でございますが

これも同じく増築により、不足分下購入いたします。

なお、際、飲料下冷すため、電気冷蔵庫一個、これ下

購入いたします。計上いたします。

議長(山本 昇 君) おはかりいたします

議案第六三号 討論省界 原案通り決定いたします 御異議ございませんか

(一異議なしと呼ぶ者あり)

議長(山本 昇 君) 御異議ございませんと認めます

す、マ 本案は原案通り決定いたします

議長(山本 昇 君) 読いた日程第一二 議案第六四号 下上程いたします

(書 記 朗 読)

議案第六四号 昭和三十六年度館山市歳入歳出追加更正予算

秘書課長(山谷 勉 君) 六四号議案につきまして御説明申し上げます

歳出。各款に職員手当 期末手当 公債費 西九人分計とマ

れておりますが、これは先ほど議決願いするに期せず当分の増額分でございます。

臨時課長山口 実君 歳出ニ款市役所費、備品費をもって十八万八千円、大会議室机三六脚、これは今まで大会議室に机がなくて全合の場合に不便下りておつたのでございまして、今回十八万八千円を以て購入しようとするものであります。建設課長（新井重助君）土不費について御説明申し上げます。

三項河川港灣費におきまして負担金補助及び交付金の欄で二百二十五万追加を願ひするものでございますが、これはかねてより計画されておりました。本工事富崎港の旧港下干潮ニメートル五〇までくい下りて、総工事費が約二千三百万円位かゝるというところで、本年度より着手いたすわけでございます。本年度は七百五十万円の三割、すなわち負担金として県に納めますので二百二

十五万月下計エーをわけでございます

。庶務課長鶴沢貫寛は、是教育費について御説明申し上げます。
教育委員会費の諸手当の中、職員手当、退職手当九
千七百二十月計エーでございす。が、これは三月に退職
いたす一と事務するの職員一名の退職手当でございす。下
小学校費の備品費で十二万計エーを一と一とが、これは
北条小学校の電子オルガンの購入費でございす。下
なお財源は現在使用不能になり、一と一とアノ下売松
いす。一と一と下財源としておりす。下

第五項の高等学校費、職員手当の超過勤務手当
二万二千二百月、これは今度高等学校の定時制の職員
に對し、一と一とミルク、給食補助金の制度が設けられ、下
一と二分の一の補助金下交付されることになり、一と一と
館山市におき、一と一とこの定時制の生徒にミルク、給食

下ーといいうもので、この超過勤務手当は現在より、下
夜間の便丁の超過勤務手当でございす。

賃金三万二千三百円、これは給食のために調理人と一
人一日百円二日分下見と入れでございす。

食糧費十萬五百円、給食の備品費で十五万、これは給食に
必要な器具購入費でございす。こゝ給食に要する

費用下合計一丁で二十九萬四千九百円にございす。
それから旅費の百万円にございす。が、海外視察旅

費、今回三六年度の海外派遣、高等学校長とい
う丁で、館山高枝の山口校長が内定、一丁で、

で、そのために欧米視察の旅費にございす。
あと幼稚園費以下は期末手当、追加分にございす。

福祉事務部長長谷川玄治君、社会及び労働施設費について御説明

申し上げます。

五十六万八千円計といつて、こゝろ人件費以外
のもので三項の児童福祉費といつて工事請負費
で三十万計といつて、これは今回布良地区に建
設されるユースホステルの敷地までに対して取付
道路工事費として十四万五千円計といつて、
これは約七五向に対する幅三メートル六八センチの道坎下
拡張あるいは舗装といつて、こういう計画になつて下
ります。それから次の四万五千円は敷地内に水利の便
がございませんで井戸を掘る、こういうことで計といつ
て、それから遊び場の設備工事費として
十一万計といつてあります。これはユースホステルが
大休子供中心の宿舎でございますので、あの辺に遊
び場がございませんで子供達の遊び場兼見晴台に
あずき屋、ブランコ、石垣等が見込みとして十一万計

エいマ—マ—に

国民年金事務取扱費といマ—マ—十一万計といマ—
 ーマ—に 旅費の一萬二千円は年金の手帳下交付
 するため行政區の担当職員下使いま—マ—のこそれの
 旅費下計エいマ—マ—に

それから報償費といマ—九万円計エいマ—マ—に
 け今回条例でけなく予算措置によ、て取扱いま—
 いた—べいという考えでございますが年金の保険料
 下納めるのに簡単に申しますと納税組合のような
 ものを作、てや、ていまない、という地区が現在でござ
 いますのでこれに限り奨励という意味も考え
 ますと約二九。〇人下対象に、て月額四百五十万円程
 度のもの下組合によ、て納付を願いま—に、 それに
 対して百分の二の額下報償費として差—エらばいい、こう

いう考の方で計上してゆけでございす。負担金補助及び交付金として八千円計上いたす。これは羊会事務の郡市、研究会が行われておりますがそれに対する負担金も今回八千円というふうな決定されたのでそれ下計上いたす。――

厚生課長(伊藤藤幸太郎君)保健衛生費について申し上げます。

二項の子防接種費でございす。百五十六万円の追加でございす。これは御承知のうちに最近大きな問題になっております。小児マヒの子防接種に要する費用でございす。この費用は三三年の四月一日から五年の九月三十日まで生れた子供に対する小児マヒの接種費でございす。なお委託料として四万五千円上げております。これは医師の雇上料でございす。なお小児マヒの百五十一万五千円の費用に対しては六十四万六千円の実費徴収金の収入

下見込んでおります。

一。項へ清掃費でおります、二百五十五万円の追加で
おります。その内訳といへば、一。旅費の十万円、
二。尿処理施設等視察旅費の予定額でございま
す。三。食糧費五万円。これは諸会議の賄料見込みで
おります。手数料の十五万円は現在市街地の下水道
への運搬の時期によりましては清掃の係が手
をぬらない場合がございまして、そのような場合には
一。運送業者等に委託して、その都度運入である
現状でございまして、それらに対する手数料の概算で
おります。

次に借料及び損料二十万円、これはし尿
貯溜の防空壕の用地への借上料でございまして、これに
つきましてはすでに御承知のように処理場のできり間の
暫定措置といへば、一。現在非常にせわばつまった向

題でございますので従来は業者に一応まかしておいた
ものですが、まゝではとうてい処理が不可能でございま
すので今回市におきまして適当な防空壕等下市の
責任におきまして借用いたしましてそういう業者の便
宜下はかゝてやううというふうなことでこの防空壕等
の使用料下二十万月一応細くぬけてございます。

それから委託料この十万月もやはり今申し上げまして処理
の一つの方法といつて西岬五〇に神戸地区にぬけり
ます海岸砂防林下利用いたしまして適当な箇所
に対して尿の埋没下お願いいたす。つまりこれによ
りまして砂防林の木の育成も考之られる。また私ども
の方の尿処理につきまして一応場所とて適当な
あつうと思ひまして一石二鳥と考えてこの方法下考之不
わけでございます。それにつきましては現地の砂防林

の関係者の協力が必要でござりますので一応協力費として十万円程度を見込みます。

次に工事の請負費の六五万円でござりますますがこれは現在大いまい甲エグマーの防空壕にお借りいまして貯溜槽に使用いたすわけでござりますますがその防空壕の締切り工事費という事で概算二十五万円で計上いたすわけでござります。

次のゴミ捨場の施設の工事費は二十五万円見込んでござりますますがこれは各地域ごとバグループの共同のゴミ捨場下作、ていばくく奨励してゐるわけでござります。これは地元の利用者の方から半額、市の方で半額工事費下もろしてこの施設に奨励してゐるわけでござります。当初見込みましたものが非常に不足いたしてござりますので将来のことで下考といたす計とい

バーミーバ、

試掘費として三十万、これはし尿処理場の一つの資料とい
い、バーミーバで約三ヶ所、わたります水深の試掘をいた
す、その中でいいます、そのために要する費用をい
ます。次の備品費の百三十万円、これはバッキュームカ
ーし尿の吸取り運搬車でいいます。当初は昭和
三十七年度の計画でいいますけれども、現況におき
ましては非常に切迫いたす状況でいいますので
この際一年繰り上げまして本年度に購入いたす
て、おもに学校、公共施設、それらの面、下重点的に市
営の吸取りを実施いたす、ということとで購入費と
して予定価格百三十万計をいたす、たわけをいいます
よう、くお願いたす。

商工水産課長(羽山寿雄君)水産費について御説明いたします。

今回水産費で六十万円、追加をお願いいたす。これは去る昭和三年に北条海岸におきまして皇太子殿下の御臨席下仰ぎまして挙行された放魚祭、記念碑の設置に、このようにして工事請負費におきまして四十五万円、その他に要する費用、計五十三万六千円、お願いをいたします。次に八項の観光費について御説明いたします。

観光費は総額で十五万八千円、追加をお願いいたします。これは当初予算で計五十三万六千円、不足額は日教の足額、いわゆる監視船の燃料、つぎましては日教の、さらに伴います燃料不足、あるいは修繕料におきましては老朽腐朽の度、貝積り、違ひ、このように、その船舶の休憩所の修繕に計五十三万六千円、なお工事

請負員におまじまして今度新規に崖の観音の下に公
衆便所一ヶ所、これは仮設のものですが大体工費七万円
婦人用四個、男子用三個、下作る、なお棧橋際に当初
予算で五万円の議決を願ひました、観光案内所はこの
ベブロック建てる堅牢なもので、しかも体裁のいいものに
変えたい、こういうことで非常ないたんであります、
内所下新設いたるべし、その不足額三万五千元下計に
いたります、それから船形海岸の休憩所の移転工
事、これも表下のほうというきわになつてまわりがい
んであります、これに要する費用がこれだけ不足して
おりますので追加いたします。

。総務課長山口 実君、一は款公債費追加額百七十五万七千
五百円について御説明申し上げます。

今回地方財政の健全化という特別措置といつて

て昭和ニ六年以前ハ災害債について全額地方交付税
である、　　こういう措置がございますのでニ六年以
前ハ起債額　年間額も、に追加したわけがござい
ます

歳出前回まで三億九千二百八十九万五千八百三十円　追
加額千三百六十四万六千三百六十円　歳出合計四億六
百五十四万二千百九十円

次に歳入に移ります

歳入の千三百六十四万六千三百六十円ハ賦課の内訳とい
た一よりて前年度の繰越一金といふ一よりて七百
七十三万二千百十円　残額ハ七百七十三万二千百十円
はこの三款より九款に至る歳出で説明のあった各節
の付記の通りでござります　以上であります

。九委(吉田勇治郎君)土木費の寄付金についてもう一度御

説明下願います

と此と国民手金事務取扱費に關係してお伺いしたいと思ひます。私どもの地区では百円納めるのに大体半日かゝるそれも歩いていって往復一時間半かゝるわけが、納入ができてない、ましてや館山に行けば一日かゝる、うまい、半日という状態の納入が行われてゐる。今うまいと末端では完全になつておるまい。今後この問題についてどういうふうな方法をとつていられるか、徴収方について現在あり方とまた今後の方法について御説明下願ひたいと思ひます。それから一括して払う場合にはどういうふうになるかその点について御説明願ひたいと思ひます。

建設課長(新井重助君)土木費の寄附金でございますが、七十五万円は高崎漁港の新設の負担金三百二十五万円

に於いて三分の一にこれに見込んだわけでございます
 す。これは当初昔の話ですが相浜港布良港という
 時代がある、たのでございましてこの当時は各工事で
 ほどございまして組合が全費を負担してあったので
 ございまして昭和二十五、六年度です。相浜港が果費
 負担港とございましてあらゆるものが果費でや、ま、く
 れる。こういうことになりましてその時二つの組合、これが
 合併して富崎港の大まな修築工事下始めようという
 大まな前提、下に富崎港とございましてあらゆる工事
 が果費工事となり、たのでございまして。その当時第一
 期工事として計画された富崎港でございましてがな
 かなか話りがよくございまして。遅れて参、たのでござ
 いまして。もうすでに第二期工事に入つております
 ので、旧港の布良港下ニーストル五〇に掘、ま、く、い、ち、

より利用価値の増大はありその後において修築工事に入ろうという果の方針でございます。負担金につきましては、現存三つの組合でございますして協議してありますので一応、七十五万円計でございます。

福祉事務所長(長谷川 広治君) 年金関係でお答之申上げます。和どもの方は現在まで各地区と申しまして、出所単位ぐらいの地域を対象にして切手下も、ことりに行く。その場で納められるという方式と、マあります。しかし、でも西岬地区に当りますと幅と申しまして、出張所までくるのは、いい、こういうことでありますので、和どもの方では、できるだけ納税組合のような組織を作って納めていただくように将来指導していきたい。こう考えております。この年金関係の保険料は市の収入には一文にもならない。こういうことで納税組合の

二 書 号
ような多額の報償費が出すことができないところだ
難点でござります。それから全納につきましては
一年納めますと千二百月、千八百月にござりますが三十
月あるいは四十月の割引率ということになって、取りま
す。――これは全納にする場合はあらかじめ届書下
ばして知事の許可をうけて、その割引をされるものと
全納する。こういうことになり、取りまして非常にめん
どうでござりますが、できるだけ話し合います。そ
して労力とか時間とか使わないようにして納めてい
たい。こういう考え方でやりたいと思います。

九 委 吉内勇治郎君 たいいよの説明で了解いたして、たが
手数料は安くとも、地域の人たちは必ずやりますので
なるべく早い機会に納税組合より部落なりにやられるも
う。――それからそういう方法ですみやめにとつていたって、

と希望するもので、その実施については、ぜひその目途を見通すについてお伺いしたい。

福祉事務所長（長谷川 宏治 君） 大体九万円、予算下計エーケーエー
ーエニニ〇組合というふうな予想下で、おります。

モデル地として、館山全地区のもの、一つや、二つ、

あと、自発的に作りたい。こういう場合のみ、私も本年
度、御稟議下申しを致しますが、私の方であまりと申

し、まず、作りたい、じゃないかということにはなるべく避

けて、地区の人々がどうしても作りたいから、こういう

ことへのみや、ていく、今年、人員等もあり、する、で、そ

ういう考え方でございしますが、三十七年度に限り、して人

員等、補充がつけば、積極的によ、ていき、たい、このよ

うに考えております。

九委（吉田 勇治 郎 君） 地区に話し合いつけて、して例えは

身近かな例とりますすが伊戸部落を会長がみんが行くのも大変だ。私がいって実地されるまで市役所にいって御相談してみんなの合下買ってまいります。こいうことならよろしいやうございますか。

○福祉事務所長(長谷川 玄治 君) なるべく御希望に沿いたいというふうを考えてあります。

○三(田村喜兵衛 君) 高等学校校長海外視察これは補助員として二十五万ありますね。そのほか寄付金として六十五万ありますね。これはどういうわけですか。どういうところから寄付金は入ってますか。

○庶務課長(鶴沢貫資 君) 御説明いたします。

補助金は国庫補助金でございます。

寄付金は本人の負担として市の方に納めていくというものであります。

市長(田村利男君)との向題について、と御説明申し、エ
リます。大抵、政州へうア入りカ下回、てくる費用が
百万円か、ちわけでございます。

今回市立の高等学校長 千葉県は二人で五〇名位の
団体、校長視察団というのが派遣されることになつた
のでございます。その場合、国かう二十五万でござい
て、あとは自費ない。は市費ということになつてゐるわけ
でございます。県費は一つもでないわけでございます。
す。そういうこともかみい、て今後七十五万円
のところでござい、て県とも適当に折衝してござい
ます。し、また市の場合も考へます。と市の校長である関
係、市へうもいくらかの錢別というふうなものでござい
れば、いいかと思ひます。そういうふうなことで考へま
して、大体県がござない場合には十万か二十万位でござい

と五丁万あるいは六丁万というものが個人負担というの
 下 覚悟の上で当人へ文部省へ参照したいという希望下述
 べてあるわけでございます。果はいくらだすかわかりま
 す。九月のことでござりますのでそんな早くまいないけ
 れども市というところでも外国旅費もござります。――
 市長と助役へあつて適当な額下果ともくらみ合
 せて 考慮したい。というわけでございます。

○三四番 飯田義男君 結構なことなんですが市の予算下通
 してやる必要はないように思うのですが国から補助
 金下そのまゝ、本人に市下通して渡せばいいのではない
 か。 日と人ご自分へ金下下していくのだというこ
 とで、それともう一つ来年も、来年も将来というものがあ
 るのかどうか参考へ伺つておきたいと思ひます。

・市長(田村利男君) 市下素通にするという意味は市から

百万円トバーバという公裁を支給、証明がないと外国
のドルを買えない。そういうことであえて市がバーバと
いう形下とらうていって買えない。こういうふうなことを
ごらいます。

それかういふ事々々ということはなと思います。
また新しい校長がござって一五年ぶってそういうよ
うなケースになるかも知れませんが、そういうことは
ないと思えます。あるいはまた小中学校において、すで
にふた郡市においては参加してもええがありますので
小中学校においてそういうケースが起り得ることは予
想されます。高等学校では予想されなないと思ひ
ます。

二番(黒川佐太郎君)は、今、問題ですがこれは本人の意思で
なく希望というが、文部省の方で指名と申しますかと

約五セロロ人ほどございます。さううち第一国目下地正に
よりまして実施してありますけれども大体該業者へ
九五％は受けております。非常に関係が高きうござい
ますので。

三四番松本、藤太郎君(国民年金)へことでお尋ねいたります。が
今回十一万の追加がござります。これは了解いたします。
が今みますと二百六十三万幾うござります。うちに百二十一
万の金がござります。要するに千分

以上百四十一万これは市費の持せいでござります。それと
も金としておりてくるようなのが、その点お尋ねいた
ります。

福祉事務局長(長谷川)云。本年度の国庫補助額は、さ
りいましてせんので昨年度の実績下おさえたために現
在受け付けにござります。が本年度の間に予算さう

考之ますと約六十万位が市の持ち出しであとは国の金で
まかなえるのではないかと考之ております

三四番(松本一藤太郎君) そういますとパーセンテージはどの
位に及びますか

福祉事務所長(長谷川広治君) 補助金と市費との関係はどの
いますか 約一割八分

三四番(松本一藤太郎君) そういますと現在予算にでております
の下みろと二百六十二万でておりますね、そのうち百二
十一万幾ういかきまおりますか、私がいっばい百四十
一万というのはほかの補助金か何かでカバーされていゝ
ますか

福祉事務所長(長谷川広治君) 国民年金事務委託金として
参りますか、本年交付額は、さういへますせんので昨
年度の実績をふまえて計上いたしてございまして本年度

の最終の補助額とは差があるということとござります下
三四番松本藤太郎君以下ハバーブーでも政府の委託事
業です。それになり二百万だ三百万だということと市員
下持です。ことはわかれ、とも恐らくないと思う。
井済し市費が二十万でござるようです。下が、さういふのは、こ
ういうのは二十万でござる。高等学校、校長先生が
海外視察を下する場合に、わかれ下が十萬が二十万か、ださうい
う。さういふことと考へます。と、苦しいことと下市ともや、て
ある。この下ハ、さういふ委託事業、下、それとなくとも
国民健康保険に、てもさう委託事業というハ、非
常に多くある。これ、下市員とや、てあるのが、さう
いふ点で、将来一つさういふもの、対しては国民年金と
いふもの、下市の委託してやるけれども、その経理内容
と、さういふものは、国から幾ら、市が幾ら、さういふ

いうことと私どもにもは、より救えていってほしい、それ
 に対して市長さんにお頼りするのですがこれは正につ
 きとゆつて自治体としてあり方では、よりよいといひ
 ます。このように希望するわけです。

市長(田村利男君)国民年金事務へまた健康保険の事務
 という問題についておさうく議長合にたいしても
 同じこととや、ていら、しゅろと思ひます。毎年――
 国民年金は国の事務とり扱、てあるもので事務責
 は全額補助でなければならぬという身は痛いよう
 に厚生省の課長と呼んで痛めつけている。全国の
 あり方です。その場合説明に負けてそのまゝ、帰、てく
 るのですがしかし總理大臣にあっては一條の決議文
 では国民年金の事務責任全額国庫負担にしても
 たいへんという決議文で、てふりまうすゝで国の方

でも十分の要請下聞いていると思います

ニニ基(黒川佐太郎君)先日と吉田議員の傾向に対する答弁
で大体わかりました。がさうには、きりませるために、お聞
きします。が国民年金の保険料の徴収ですが、高峰
当りは一日一かきない。同質下見さないと、その時期
下失して困る。これは課長の身にも入。ておると思ふ
が、今組合とか何とか作。て対処したいというお話しで
い。が、この次まで、さうい。て運ぶになる。見通しがあ
るかどうかがお聞きします。

もう一つこれは別の問題ですが、昨年はなか、た。です。が
従来や。てふ。て衛生車と申します。が、カ。ヤ。ノ。道。そ
うい。て、この予防。それがい。ま。で。に。い。ない。が。この際。せ。い
や。て。い。たい。き。たい。これ。に。対。して。答。弁。願。い。ます。

福祉事務所長(長谷川右治君)私としましては、毎月一回で、ふ

りまして年金は三月に一回が納期限ということになり
ます

毎月でておりますのはでまゐり同質校あるいは広
報等によりますのでそれ下見落さないようにしてい
なければ幸いである。 どうしても出張徴収にと
まらぬに合はぬというときに隣り近所の人によつ
てもらゝても結構です。出張所でも結構でございま
す。それから組合の結成でございします。私どもの方
であつてくわりの所はいたして、まゐるが地元の方で要望が
あればいろいろ説明なり助言はいたします。

二 三 重 田 川 佐 太 郎 君 今 の 問 題 で す が あ ま く ば り と いふこと
で、いふことは指導——なればならない、いわゆる
欲といふ、ますか、そういうものがなないところは市当局の
力で指導——して作つてやる。市当局はこの点も考へて

いへ、きこい　　す、このところ同質の回りが悪いから
これらもやはりそういふ観点から考えなくてはいいけな
いと思う　　せ、考えていへ、きこい

・福祉事務所長（長谷川 忠治 君）同質校は一切使わないうち、広報
でや、ていります　　広報は各戸に配布になるようにや、て
いります、うごよう、くお願、い、ら、ま、す

・厚生課長（伊藤 幸太郎 君）一三年前までや、ていり、ま、す
スターによる駆除をいふ、す、が、これは一口に申し、ま、す
ますとあの粉剤というものが害虫に耐える抵抗力がな
く、な、ま、す、つ、あるという、う、な、点がある、け、こ、ま
い、ま、す、スターによる粉剤散布による相当、金
額、下、要、い、な、が、効果があるかどうか、その問題が現在
ある、け、こ、ま、す

相談、い、ら、ま、して、同、希望がある、れば、で、ま、る、だけ、や、り、ま、す

と思ひますけれども部落の方へ御意伺も十分お聞き
いまいまいでも一週希望がござります下川は御相談に依
じたい。さう考えております。

二 三 黒川佐太郎 君 高崎ではせむやうでもういふという御
希望が強いのであえて申し上り次第でござります下

議長 山本 昇 君 おはかりいたします。

議案第六四号討論有畧 原案通り決定いたします御
異議ござりますせんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長 山本 昇 君 御異議ございと認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

本日、全議はこれにて散会いたします。丁が次会は明

六月二七日午後二時開会といいたします。その議事は

臨時出納検査を合議員の互選 消防委員会委員の

選挙その他といひます

散会いひます

昭和三十六年六月二十六日

午後五時三十分散会

